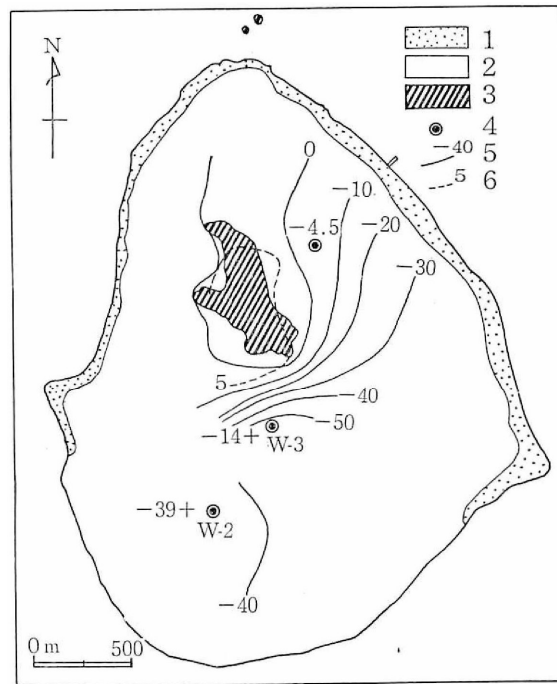


地形・地質

竹富島は面積 5.5km² の卵形をした小島で、島の中央に古生層(砂岩・粘板岩・チャート)が露出し、20m 前後の小丘をつくるほかは、琉球石灰岩の緩やかな地形が広がります。黒島は竹富島からさらに南西へ 10km に位置し、面積は 10km² ですが琉球石灰岩からなっています。

地下水

竹富島は基盤付近の石灰岩に賦存する地下水は、ほとんどが海へ流出してしまい、利用できる地下水はごくわずかしかなかった。島の中央部にある集落は、基盤が浅いため、浅井戸で地下水を利用しています。黒島の地下水は、塩水の上に薄く淡水レンズとして存在します。



1. 砂丘堆積物、2. 琉球層群(石灰岩)、3. 基盤岩類(砂岩、粘板岩、チャート)、4. 試掘井、5. 基盤上面等高線(m)、6. 地下水面等高線

竹富島の水文地質図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)